

第23回大樹町家畜まつり
チャリティー総額73,550円
大樹町社会福祉協議会へ寄付



女性部「エルダー
定例交流会」
4ページ～



青年部「視察研修」 4ページ～



十勝地区農協青年部協議会 第43回海外農業視察研修に2名参加!



豊里農事組合
藤内隆弘さん



下大樹農事組合
半田佑介さん

2月19日から28日の10日間の日程で十勝地区農協青年部協議会第43回ヨーロッパ海外農業視察研修が開催されました。研修先はドイツ・オランダ・フランスの3カ国で、十勝管内5農協から7名、大樹からは2名（半田佑介さん・藤内隆弘さん）が参加しました。



シュミット牧場にて

イオカスプラントを持つ大型牧場で、家族4名と従業員2名で営農していました。牛はホルスタイン種の他にジンメンタールやブラウンスイスなどの珍しい牛も飼養していました。また、バイオマス発電後のカスにカルキを混ぜて牛のベットに使っていることが特徴的でした。

オランダのヘッセン州にあるグラドバッハーホフ農場はリーセン大学の実験農場で、



グラドバッハーホフ農場にて

約90頭の乳牛と草地、畑作物合わせて180haの規模で、有機（ビオ）栽培の研究などがされています。8年の輪作体型では、初めの2年でルーサンを栽培し土に窒素を蓄え、その後は牧草や有機栽培の野菜、その種子が生産されます。また、雑草を駆除する目的から雑草に影響されにくい大麦やライ麦が生産されています。牧草畑では年4回牧草が収穫され、雑草に種をつけさせない雑草駆除の取り組みがされています。また、生産した穀物種子は、学生により販売され、生産から販売までを経験できるようになっています。

オランダ・アムステルダム近郊にあるバーレンセ農場は、無農薬による水耕栽培を行い、1つ10haもある大型ハウス3つを使ったスマート農業を実践する農場でした。栽培作物はミニトマト10haとオレングパプリカ20haで、コンピュータによる温度管理や灌漑管理で生産されていました。オレングパプリカは世界一の生産量で、収穫物の95%が日本やアメリカに輸出されています。また、環境負荷の軽減にも取り組んでおり、必要な水の95%を雨水から、熱や電気、CO2については天然ガスボイラーを使い、余剰電力はマイクログフトやグーグルに売電していました。

フランス・パリ近郊にあるモーリス農場は、家族3名、従業員3名で、17haの畑を使い約40品目を生産する小規模多品目経営を行う農場でした。収穫物は農場直売所やAMAPシステムという消費者と直接契約を行い、定期的に対面販売をするスタイルでした。



栽培されているパプリカ



大型ハウス



バーレンセ農場



オランダの牧場で記念撮影

経営方法では、アグロフォレストリーという畑の管理方法に取り組んでおり、畑の周りに木を植え、そこに集まる生物の多様性により畑の環境を整えるもので、水引が早くなり病気や害虫の発生を抑制するという方法を取り入れていました。

パリ近郊で行われたSIA（パリ国際農業見本市）とSIMA（パリ農業国際ビジネスショー）も視察しました。どちらも広大な会場で、帯広で開催される国際農業機械展の何倍もの会場の広さに驚きました。その中では、農業機械・部品メーカーによる出展があり、初めて見る大きなトラクターや最新機械が展示されていました。ま



SIMAの会場にて

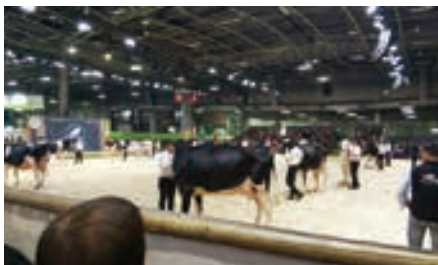


SIMAの会場にて

た、様々な種類の牛や豚、羊などの家畜の共進会の他、猫や犬などのコンクールも開催されていました。今回の視察を通して、ヨーロッパ農業の技術や課題、環境対策など日本でも深刻化している問題に対しての取り組みを知ることができ、これからの経営に良い刺激とアイデアを頂くことができ、大変有意義



大型コンバイン



SIA のようす



オランダのチーズ工房にて

な視察研修となりました。この視察を企画してくださった十勝地区農協青年部協議会をはじめ、旅費を補助してくれた大樹町農業協同組合に対し、お礼を申し上げ、報告とさせていただきます。

【文・写真 半田佑介・藤内隆弘】

セルフスタンド サマーキャンペーン

～1000台以上が来場～

J A 大樹町セルフスタンドでは、6月28日と29日の両日で「サマーキャンペーン」を実施した。

キャンペーンでは、ガソリン・軽油20ℓ以上の店頭給油した方に1日目はトイレットロール、2日目はBOXティッシュを各日500台限定でプレゼント。J A 職員や関係機関の誘導で車列を整理する声が飛ぶ中、多くの来場者で賑わいを見せていた。

また、ポイント10倍、洗車プリペイドカードの30%～40%OFFセールや、スピードくじチャレンジも行われた。

販売実績は、

1日目は来客台数530台、販売量13.5kl。
2日目は来客台数535台、販売量13.3klとなり、2日間合計で来客台数1,065台、販売量26.8klとなった。



悪天候の中でも賑わいを見せた

青年部

「鹿追町環境保全センター」と
「余市蒸留所」を視察

7月9日から10日の日程で、部員9名が参加する中、視察研修を実施した。

1日目は、鹿追町環境保全センターを視察。

同施設では乳牛の糞尿の適正処理のほか、市街地からの生ごみや下水汚泥を適正処理するとともに、バイオマス資源として有効活用する取り組みが行われていた。また、処理過程で生産される消化液は環境にやさしい有機質肥料として、バイオガスからは電気と熱を生産し、再生可能エネ

ルギーとして有効活用していた。部員達はバイオガスパラントの抱えている問題や将来の展望について熱心に質問していた。

2日目は余市蒸留所を視察。NHK連続テレビ小説で有名になった同施設では、モルトウイスキーが製造されている。部員たちは、世界でも希少な蒸留法である石炭直火蒸留の様子を視察し、手間を惜しまず、脈々と受け継がれる伝統の技で作られるウイスキー作りを学んだ。



消化液貯留槽前にて



水素ファーム前にて



ガイドによる説明



石炭直火蒸留の様子

女性部

エルダーミセス定例交流会
参加部員10名、上士幌方面へ

7月5日、エルダーミセス定例交流会が開催された。部員10名が参加し、土幌・上士幌方面へと向かった。

出発時は雨が降り、視察先の変更も視野に入っていたものの、帯広に入る頃には雨もあがり、土幌では時折晴れ間が差すまで回復した。

まずは今年改築された『ナイタイ高原牧場テラス』へ。残念ながら霧はかかっていたが、車内からは牛追いの様子を見ることが出来た。到着後

はテラス内外から広大な景色を楽しみ、ソフトクリーム等を食べながら交流を深めた。

ナイタイ高原牧場視察後は『道の駅 ピア21しほろ』へ。施設内には様々な商品が並んでおり、買い物を楽しむ部員も多くいた。

最後に音更町『大野農園』へ向かい、バラ鑑賞を楽しんだのち、大樹町へと帰町した。次回は9月に開催予定。



ナイタイ高原牧場で一息



大野農園でバラを吟味

農作物生育状況

各農作物 順調に生育!

8月1日現在において、各農作物の生育状況は、7月の曇天による日照不足の影響があるものの、春先の良好な生育のおかげで、平年並から5日早く生育が進んでいる。

馬鈴しょ、てん菜の作況は

順調であり、馬鈴しょは5日早くやや良、てん菜においても4日早いやや良となっている。作付面積は馬鈴しょで260ha、てん菜で527haとなっている。

豆類に関しては、小豆で1日遅れの並となり、今後の生育に期待したい。

秋まき小麦の収穫は、7月

29日から始まり、

8月3日に収穫を終えた。粗原料で豊作であった平成29年産と同等、若しくはそれを上回る収量があり、今後の製品歩留まりに期待される。

飼料用とうも



ろこしは、7月上・中旬に曇天が続き日照時間は例年の半分程度しか無く、若干の生育停滞が見られた。しかし、例年を大きく上回る春先からの良好な生育により、+5日のやや良となっている。

2番草の生育状況としては、1番草の収穫が早かったため生育は進んでおり、すでに収穫している圃場がある。嗜好性の良い2番草を確保するためには、適期刈りが必須となるため、刈取り後50日を経過した圃場の状況確認を行う必要がある。



各作物の風景

「大樹だいこん」&

「浅漬大樹だいこん」

「大樹だいこん」の出荷作業が7月4日より始まった。

撰果場には、生産者から持ち込まれた大樹だいこんがコンテナから洗い場に流され、葉とヒゲをカットされた後、大勢の従業員によって撰果される。

撰果された大樹だいこんは10kgに箱詰めした後、予冷され本州の市場に出荷されるほか、評判の高い「浅漬大樹だいこん」の原料となる。

31年度の生食大根の作付面積は、4戸31.4ha（大樹3戸22.7ha・広尾1戸8.7ha）となった。

農産販売課の種田担当は、「6月中旬の低温により生育の遅滞が懸念されたが、概ね予定通りの選果開始となった。

ただ全国的な豊作による市場飽和と猛暑による需要減少により市況は暴落しており、現在秀L800円/ケース程度で推移している。このままではこの先も市況価格が上昇する見込みは薄く、各産地の出荷量の安定化や需要の回復を待つ状況にある。また、本年度は気温と湿度が高く、軟腐病の多発が見込まれるため特に注意が必要である」と話している。



洗い場に流されるだいこん



浅漬だいこんの製造場



撰果場のようす

JAグループ通信

JA北海道中央会



7月3日に全道JAの組合長ら70名が参加し、国際貿易協定・交渉の情勢並びに令和2年度国費予算概算要求に係る農林水産省との意見交換会を実施しました。日米貿易協定交渉を含む国際貿易協定については、農業が犠牲にならないよう取り進めるよう十分な検証と対策を実行するよう要望しました。国費予算概算要求については、JAグループ北海道で決定した政策提案を元に、作目別共通対策、水田農業対策、畑作青果対策、酪農畜産対策と農林水産省に対して、北海道の生産現場に必要な意見を要望しました。今年は国が「食料・農業・農村基本計画」を見直す5年に1度の重要な年であり、見直しにあたっては専業農家が多い北海道農業が食料安定供給に果たす役割の明確な位置づけと、北海道農業の根幹を支えている家族経営が農業生産を維持・拡大できる施策を盛り込むこと等、を要望しました。引き続き、JAグループ北海道の政策提案の実現を図り、今後も北海道の農家・組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



JA北海道信連



札幌市の大通公園には、各企業等の協力により造成されているスポンサー花壇があります。JAバンクも、農林中央金庫が中心となって、長年、花壇造成に協力してきています。今年は、7月6日、農林中央金庫札幌支店や北海道信連の職員などが参加し、大通公園西4丁目で植栽を行いました。



JAらしい緑化事業への参加を通じて、JAバンクは豊かな地域社会づくりに貢献しています。

JA共済連北海道



JA共済連では、7月6日に札幌ドームで開催された「北ガスグループ6時間リレーマラソン」に有志26名が参加しました。他の企業も多数参加しており、JA共済連では「ひと・いえ・くるまの総合保障」を掲げ、職員が揃いのTシャツを着て一生懸命走ることで、JA共済を大きくPRしました。

今後もこのような活動を通して多くの皆さんに「JA共済」を知っていただくよう活動していきます。



ホクレン



ホクレン女子陸上競技部は、北海道内の小学校で「みんなで走ろう！陸上教室」を開催しています。今年は厚真町の厚真中央小学校を皮切りに、同校を含む6校を対象として、走り方の基本や基礎トレーニング方法などを分かりやすく指導しています。この活動は地域・社会貢献活動の一環として2011年から続けております。厚真中央小学校では4～6年生合わせて約70人を指導し、楽しみながらランニングの基本や筋力トレーニングを教えました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

このたび紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介し、各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



十勝農業改良普及センター 十勝南部支所通信

心土破碎処理で土壌の物理性改善を

収穫作業が終盤をむかえ、来年の作付けに向けて秋の耕起作業を行う時期が近づきました。心土破碎処理は耕盤層の破壊により排水性を確保する効果があります。また、心土破碎機の種類を使い分けることでより効果的な土壌物理性改善が期待できます。

○プラソイラ・サブソイラ・ハーフソイラの比較



(スガノ農機株式会社カタログより引用)

①プラソイラは破碎範囲が広い
ため、多少下層土を持ち上げてしま
いますが、土層全体が膨軟にな
ります。

②サブソイラは破碎範囲が狭い
ですが、土層を大きく変えず、排
水性を確保することができます。

③ハーフソイラは破碎範囲が広い
うえ、下層土が上がらない構造
になっているため、土層が大き
く変わりません。

○心土破碎作業時の留意点

- ①土壌が湿った条件で施工すると、むしろ土壌物理性を悪化させてしまいます。土壌が乾燥していることを確認してから施工しましょう。
- ②作業深が深すぎるとけん引抵抗が大きくなり、作業機が上下し、土壌の乾きにムラが生じる原因になります。作業深を一定に保ちましょう。
- ③作業速度が速いと施工効果が弱まります。時速3～4kmの低速を保ちましょう。

○排水改善による効果

①根張りが良くなる

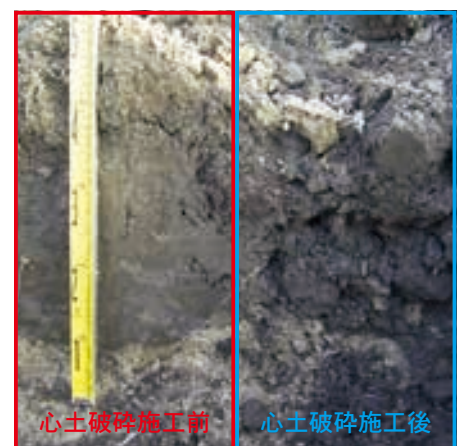
土壌中に空気の層ができることで、根が伸長しやすい環境になり、地上部の生育が良くなります。

②土壌病害が低減される

多湿を好む病原菌の増殖を抑え、滞水による病原菌・胞子の移動制限の効果があります。

③ほ場に機械が入りやすくなる

ほ場が乾きやすく、降雨後の機械作業がスムーズに進みます。また、ほ場を繰り返すリスクも減ります。



広尾警察署からのお知らせ

G20観光大臣会合の成功に向けて

10月25、26日の両日、俱知安町においてG20観光大臣会合が開催されます。既に行われたG20大阪サミット及び関係閣僚会合は、皆様の御協力により無事終了しました。

広尾警察署でも、テロ等違法行為の発生を未然に防止するため、重要施設や公共交通機関などにおいて警戒警備を強化することとしております。

皆様の御支援と御協力をお願いします。

秋の全国交通安全運動の実施

身につける 夜道のお守り 反射材

9月21日（土）から9月30日（月）までの10日間、秋の全国交通安全運動を実施します。

この時期は、日没が早まり夕暮れ時間帯から夜間にかけて高齢者を中心とした歩行者被害の交通事故の発生が懸念されることから、ドライバーも歩行者も交通事故防止に努めましょう。



【広尾警察署 2-0110】

理事会の動き

第6回 7/30

★報告事項

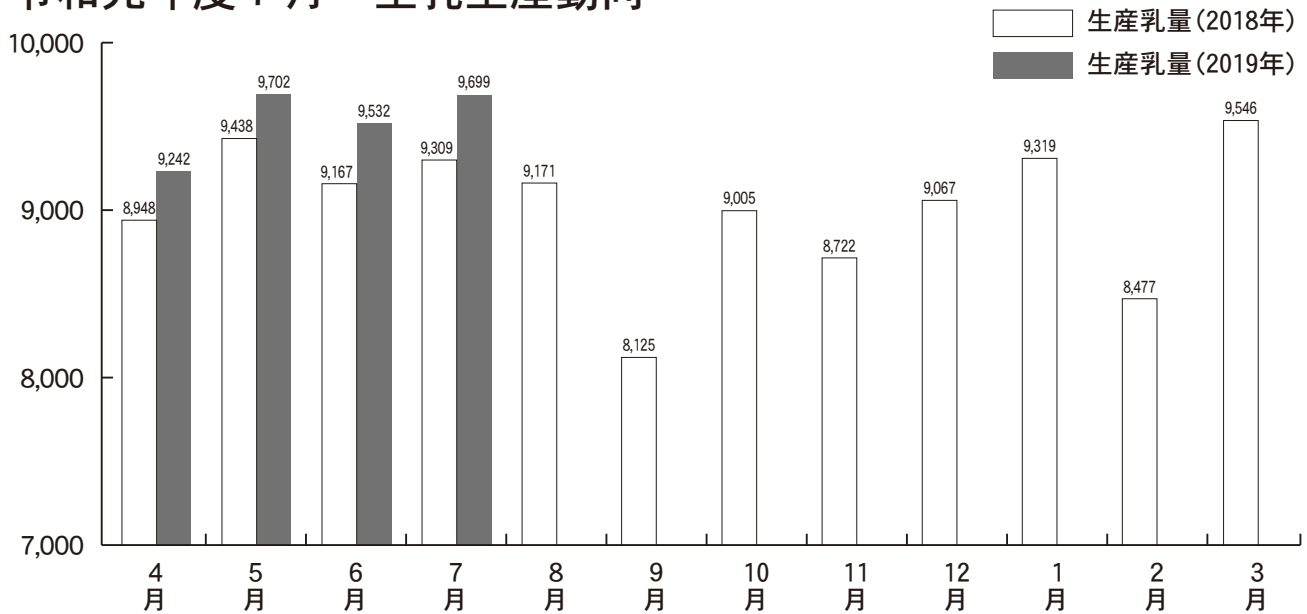
- 1 第50回十勝総合畜産共進会（乳牛）の出品について
- 2 令和元年度北海道肉用牛災害総合対策事業の実施について
- 3 第50回十勝総合畜産共進会（肉牛）の結果について
- 4 十勝酪農畜産対策協議会第2回全体委員会の報告について
- 5 農作物生育状況定期調査結果について
- 6 令和元年産畑作物作付面積調査結果について
- 7 理事に対する資金の貸付について
- 8 要改善JA要綱・JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中および農林中金が定める事項の報告について
- 9 内部管理体制にかかる指導要綱・JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」の報告について
- 10 子会社の経営状況について
- 11 第23回家畜まつりの総括について
- 12 第1四半期自治監査の結果について
- 13 組合員の異動について
- 14 連合会の決算状況について

★付議事項

- 第1号 令和元年産全道共計販売品の取扱について
- 第2号 JAにおけるマネロングガイドラインとのギャップ分析について
- 第3号 理事に対する資金の貸付について
- 第4号 固定資産の取得について

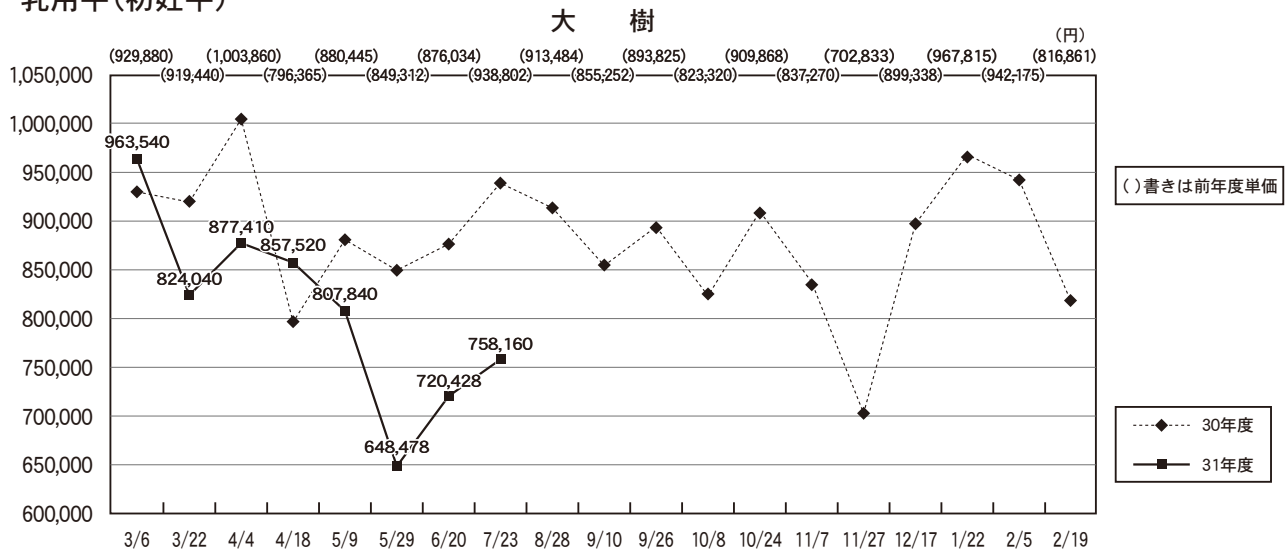
協議・承認

令和元年度 7 月 生乳生産動向

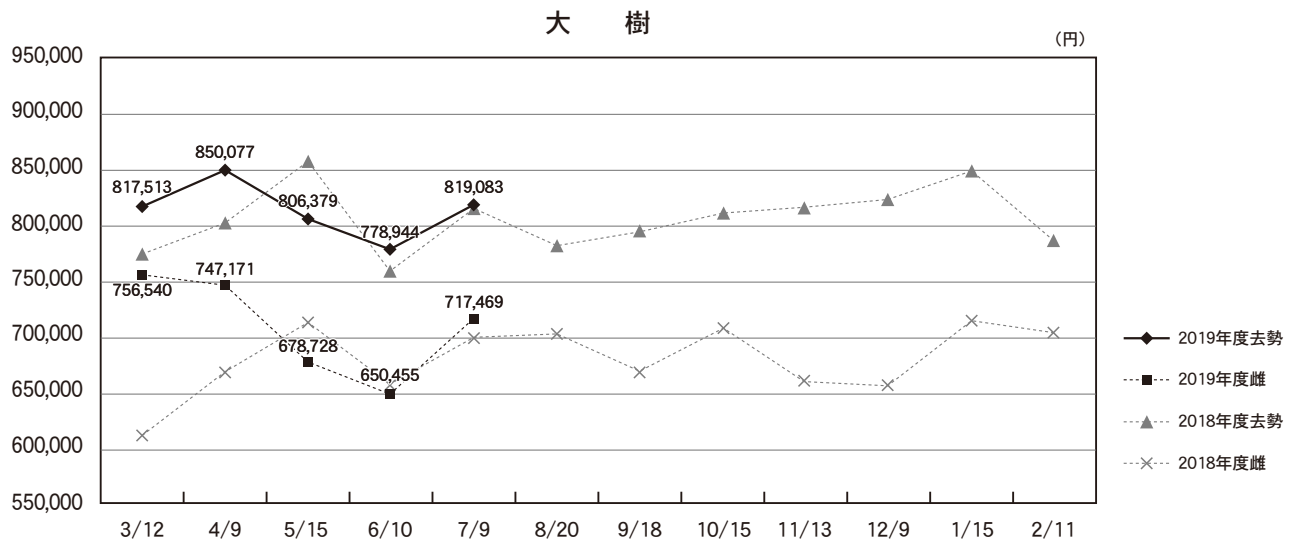


家畜市場の成績

乳用牛(初妊牛)



肉用牛(黒毛和種)



正解者10名にAコープ商品券が当たる

頭の体操

クロスワードパズル

クロスワードパズル

タテのカギ

① テレビのリモコンにはたくさん付いています

③ なだらかな——が続く丘陵地

⑥ 合唱部が練習するもの

⑦ 耳かきと共に行方不明になりやすいそうです

⑧ 今からこれじゃ、——が心配だなあ

⑩ 仲間から紹介を受けて、伴侶候補と会います

⑭ 宴会でグラスをみんなで掲げて……

ヨコのカギ

① 9月1日は——の日。非常持ち出し

袋や避難経路を確認しましょう

② 高知の名物料理、カツオの——

③ 皮膚の表面にある細かな模様。——

の細かい肌

④ 食器を拭く布です

⑤ いがに守られた実がなります

⑦ 晴れた十五夜にはとても明るい

⑨ 矢を射る道具

⑪ 陽の反対語

⑫ 国や地方自治体に納めます

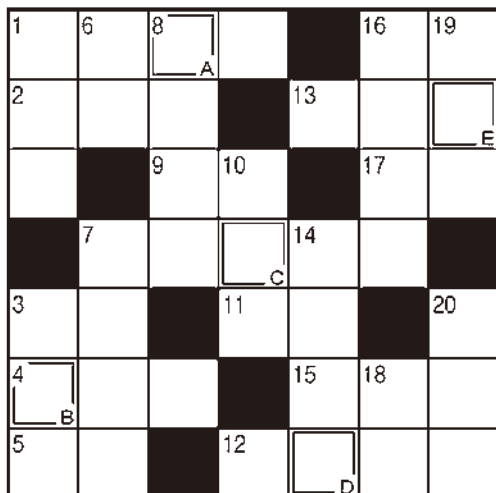
⑬ 首都はモスクワ。大きな国です

⑮ 肉料理に添えたり、刻んでスープに

浮かべたりする香草

⑯ 傘にも風（たこ）にもあります

⑰ バラの茎にある突起



8月号の答え

A B C D E
キ モ ダ メ シ
でした。



当選おめでとうございます

当 選 者

(開進)	(上中島)	(萌和)	(下大樹)	(豊里)	(豊里)	(大光)	(大光)	(相川)	(尾田)
島	高	阿	三	佐	藤	佐	五	渡	村
田	野	部	木	藤	内	藤	木	邊	瀬
範	敏	力	彩	勉	寿	咲	田	敏	亜
子	子	ホル	花	さん	美	子	幸	行	矢
さん	さん	さん	さん		子	さん	子	さん	子

■ 解き方 Ⅱ 普通のクロスワードの要領で全部を解いて下さい。

次にA→Eの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。

■ 締切り Ⅱ 9月10日(当日消印まで有効)

■ 届 出 Ⅱ 本所企画管理課、生産資材課・大樹協同商事の専用投書箱へ。

■ とじ込みハガキをお使い下さい。郵送する場合は62円切手をはって下さい。

■ 賞 品 Ⅱ 大樹協同商事商品券(正解者多数のときは、抽選で10名の方に)

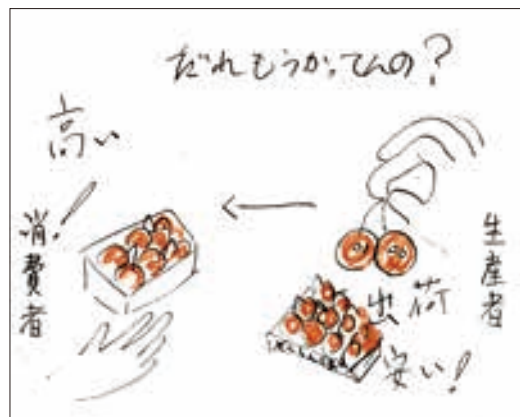
■ 職員とその家族の方はご遠慮下さい。

■ 8月号の応募者は21名で、全員が正解されました。抽選の結果、次の方々が当選しました。

当選した方には大樹協同商事の商品券をお届けいたします。

J Aに送られてきたハガキから…

先日、匿名でJ Aに送られてきたハガキです。
素朴な疑問で、みなさんが納得していることではありますが、
「本当に詳しく理解し、納得しているのか？」という、
正直、疑問に思うところもあります。
ということで、今回は『流通の仕組み』などについて、
今一度、学習して行きたいと思います。

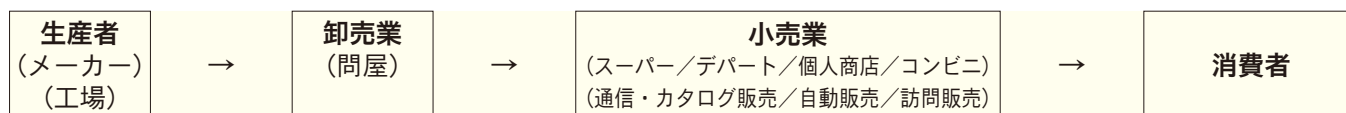


●流通のしくみと商品の価格

私たちが消費しているものは、ほとんどが自分たちで生産したものではなく、他人が生産したものを買い入れて消費している。
生産者は自分で消費するためではなく、他人に売をことを目的に生産している。これが、商品である。

商品は、食料品・機械・衣服のように形にあるものばかりではない。観光・医療のように形の無いサービスも商品である。

【流通過程】 商品が生産者から消費者に届くまでの流れが、商品の流通である。



Q 自分たちでは「ものをつくらず」、生産者から消費者へ商品を届ける過程で仕事をしている職業はどんなものがあるか？

- 商業(卸売業と小売業)
- 運送業
- 倉庫業
- 金融業(商品取引の決済を代行)
- 保険業(事故で商品がなくなったり、損害を受けた場合を考え保険に入る)
- 通信業(商品の注文に電話や郵便が利用される)
- 広告業(消費を刺激し、需要を高める)

【価格の成り立ち】

どのように商品の価格が決まり、値段がつけられるのか？

原材料費 (300円)	労働者への賃金 (200円)	減価償却費など (100円)	生産者の利益 (400円)
----------------	-------------------	-------------------	------------------

※ピンクの部分＝合計600円を生産費(コスト)という。

★減価償却費…機械や生産設備は、使用していくと年々その価値が減少していく。この減少額を減価償却費という。

機械や生産設備を購入した以上、この費用を考えておかないと、再購入や修理の時に困る。

★他に、商品の価格をつける時には、地代、電気・ガス・水道代などの経費も考える必要がある。

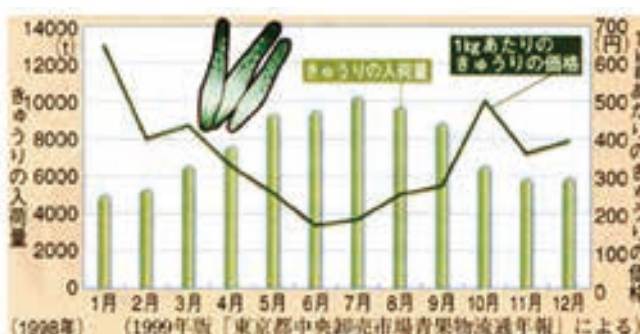
【市場価格】

需要量と供給量の関係で、市場で成立する価格をいい、生鮮食料品などがこれに入る。

●キュウリの価格

たとえば、右グラフで野菜(きゅうり)の価格を考えてみよう。入荷量が多い季節(7・8月)は、供給者は売れ残ると困るので低い価格で売る。逆に入荷量が少ない季節(1・2月)は、価格が高い。

キャベツなどは豊作のとき、農家はわざとキャベツをつぶしてしまう。とれたキャベツをすべて市場に回すと値段がとても安くなってしまい、採算がとれないから、つぶすことによって市場への出荷量を減らしているのだ。



需要と供給の関係	供給<需要	消費者は競ってその商品を手に入れようとするため、市場価格は上昇する。
	供給>需要	売れ残って市場価格が下がる。

★価格の自動調節機能

供給<需要	→	価格上昇	消費者は、価格が上昇すると、買うのを控える。企業は、価格が上昇すれば、より多くの利潤を得ようとして供給を増やす。(供給増加)	→	供給=需要
供給>需要	→	価格低下	消費者は価格が下がると買おうとする。(需要増加) 企業は、価格が下がれば、利潤が小さくなるので生産をひかえる。(供給減少)	→	供給=需要

未来を拓く協同組合 JAと農業

未来を拓く協同組合

JAと農業

監修 JA
日本協同組合連合会

世界とともに目指す「SDGs」

国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」という言葉が、世界中で注目を集めています。「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」など17の目標が掲げられており、この目標を達成するために各国政府はもちろん、民間の企業や団体の参加と貢献が期待されています。協同組合も達成に当たり役割を果たすべき民間セクターの一つとして明記されており、国際協同組合同盟(ICA)は目標達成に向けた貢献を約束しています。

日本の協同組合でも、例えば日本生協連が「コープSDGs行動宣言」を採択し行動をすすめるなど、SDGsへの取り組みが動き出しています。JA全国女性協も「第65回通常総会の特別決議」の中でSDGsに取り組むことを決定しています。持続可能な社会の実現に当たっては、食料輸入による環境負荷や食品ロスなど、食や農に関連する課題も多く残されています。JAも地域社会の課題解決に努めるとともに、SDGsの達成へ貢献していきます。

語句解説

【持続可能な開発目標(SDGs)】(エスディージーズ)

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されており、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、17の目標と関連する169の具体的なターゲットが定められています。発展途上国を対象にしたミレニアム開発目標(MDGs)を引き継ぐもので、先進国も含め取り組むこととされています。

SDGsの17の目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



耕そう、大地と地域のみらい。

イラスト・情報コーナー

イラストは濃くていねいに書いて下さい。
(あまり薄いと掲載出来ないことがあります。)

イラスト・情報コーナー



下大樹
三木彩花ちゃん(11歳)

イラスト・情報コーナー



匿名